

令和4年度小学生議会見学会、中高生議会見学会・意見交換会の実施に向けた検討事項

	委員会で出された検討事項	対応案
来場型・オンライン型共通	① 参加後の議会に対する意識の変化を尋ねるアンケート項目の追加 【例】今後、議会だよりや議会中継を見ようと思いますか？	参加後の議会に対する意識の変化をアンケート項目に追加することは、議会見学会及び意見交換会の効果を測る有益な指標の一つであると考え、委員の皆さんの同意が得られれば、追加したいと思います。
	② 議会に関する説明内容の見直し（詰め込み過ぎで難解）	現行のスライドと台本の内容を、委員の皆さんに事前にご覧いただき、委員会全体で協議したり、提案のある委員から改善点をご指摘いただき、正副委員長で反映したり、などと改善することは大切なことと考えます。
	③ 参加者に議員への質問を考えてきてもらうことの事前連絡	これまでも参加者との環境確認テストなどで、事前に議員への質問を考えてきてもらうことや質問の例をお伝えしているところではありますが、さらに、前日に参加者に対してリマインドのために送信しているメールの中でも議員への質問についての連絡を行うことにより、強化していきたいと考えています。
来場型	④ プログラム中に「議会の疑似体験」セッションを追加	どこまでの疑似体験をしていただくのかにもよりますが、実施する場合、事前の説明や予行練習などが必要となり、複数日での実施となることが想定されるため、1日のプログラムである現行の議会見学会及び意見交換会という枠組みでの実施は難しいと考えます。実施する場合には、また別のスキームを検討する必要があると考えます。

<p>オンライン型</p>	<p>⑤ グループセッション（議員とお話会・意見交換会）の終了（フェードアウト）の仕方</p>	<p>1日で複数回実施するため、全ての回を完遂するために時間制限を設けています。グループセッション毎の参加者全員に見える形で終了時間までのカウントダウンを表示しておりますので、各グループの議員に時間厳守のタイムマネジメントは行っていただきたいと考えています。なお、時間より早く意見交換が終わった場合、グループ画面から全体の画面に戻ることも可能ですので、時間より早いグループセッションの終了を妨げるものではありません。</p>
<p>その他</p>	<p>⑥ 執行部主催の子ども議会との共催</p>	<p>今年度における執行部主催の子ども議会の実施は現時点で未定とのことであるため、今年度に関しては共催について検討できる状況ではありませんでした。</p>